

(第2号様式)

那み支第 1771 号
令和7年 3月 14日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇みらい支援学校
校長 栗國 静夫
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和6年7月10日(水) 10:00~11:20	会議室他	評議員(4名)、校長、教頭、事務長、主幹教諭、部主事
第2回	令和6年12月11日(水) 10:00~12:00	会議室他	評議員(5名)、校長、教頭、事務長、主幹教諭、部主事
第3回	令和6年2月14日(水) 10:00~11:30	3階多目的室	評議員(4名)、校長、教頭、事務長、主幹教諭、部主事

2 学校評議員に求めた事項

- 1 本校の学校運営について
①本校の学校概要 ②各学部(フロアー)の取り組みについて ③進路指導について
- 2 学校見学(授業見学等)
- 3 学校給食の試食
- 4 学校評価(外部評価)
- 5 本校の教育に期待すること

3 学校評議員の意見

- 業務の優先化や見える化を図り、より一層の業務改善を進めて教職員の負担軽減に努めて欲しい
- 学校の教育活動を保護者や地域に発信し、特別支援教育の理解や地域連携を推進して欲しい
- 児童・生徒の将来の自立・社会参加に向けて、職業等の目標設定・評価の工夫を図り、主体的な進路決定に繋げて欲しい
- 子どもが社会と主体的に関わり、自分の意思を表明できるような指導や学習経験を積み重ねることが重要
- 障害者を取り巻く社会状況の変化を捉え、本人・保護者の福祉制度理解等も進める必要がある

4 学校運営に反映した事項

- カリキュラム・マネジメントの視点で教育活動全体を見渡し、業務の重点化や研修・会議等の効率化にも努めた
- マチコミによる保護者・福祉事業所への情報発信、横断幕による児童生徒の功績紹介、地域の老人施設と連携した職業の授業実施等、情報発信や地域連携に努めた
- 保護者面談を担任と進路部共同で行い、実習評価や本人及び家庭のニーズを踏まえた進路相談の充実を図った
- 小学部・中学部・高等部が系統的にキャリア教育を進められるよう「キャリア教育全体計画」を策定した
- PTAと進路部が共同で、複数の事業所を招いた「進路学習会」を開催した

5 課題その他

周辺県立高校等との交流及び共同学習に積極的に取り組んでいるが、お互いの児童生徒のねらいを確認しながら実施方法や内容を今後も工夫する必要がある